

激励会

多くの中学校では、この時期に新人大会選手激励（げきれい）会あるいは壮行（そうこう）会というものを行っています。9月27日（火）・28日（水）に行われる福島支部中体連新人大会へ向けて選手の皆さんを激励するわけです。激励とは、励まし元気づけることです。奮（ふる）い立たせることです。そのため、応援団がある学校では、勇壮（ゆうそう）な応援団の登場となります。

各運動部がユニフォームに身を包み、体育館にきちんと整列する姿は、凛々（りり）しく頼もしい限りです。それぞれの学校には、伝統というものがあります。それは、先輩から受け継いできたものです。

それぞれの部にも伝統があります。あいさつの仕方や整列の仕方などは、部によって違います。きっと先輩から受け継いできた形を、さらに高めようとしているのではないのでしょうか。

昨年からの激励会を見ていると、選手の皆さんの態度は、どんどんよくなってきているように感じます。激励会では、普段の姿が出るものです。そのときだけうまくやろうとしても、できるものではありません。試合も同じです。大会のときだけ、急にできるものではありません。練習はうそをつきません。

大会に出場する皆さんには、ユニフォームを着ることの意味を考えてほしいと思います。それを着ることができるのは、当たり前のことなのでしょう。同じ部の中に着ることができない人はいないのでしょうか。

また、団体戦に出場する皆さん、いわゆるレギュラーメンバーは、その自覚をもって試合に臨んでほしいと思います。自覚とは、途中であきらめない、最後まであきらめずに全力で戦う、自分のできるプレーを精一杯行う、相手に勝つために考えることです。試合を見ている人が応援したくなるようなプレーをすることです。

支部新人大会まで、あと4日です。健康管理に気をつけて万全（ばんぜん）の体調で大会に臨むのも大切なことです。

9月14日（水）に、福島地区小・中学校音楽祭合奏の部があり、野田中学校吹奏楽部の皆さんが出場しました。音楽堂に素敵な音色が響き渡りました。次の日、部長と副部長が校長室に来てくれました。話を聞くと、悔しさはあっても、とてもよい笑顔を見せてくれました。ぜひ、支部新人大会後には、運動部の皆さんの笑顔も見たいと思います。楽しみにしています。